



### 2020年3月期 第1四半期決算資料

STOCK CODE: 9436

### 20年3月期 10 サマリ



# Ⅲ 業績 🗪



### 増収増益

営業収益 : 166億円 (YoY +2.5%)

営業利益 : 35億円 (YoY +2.3%)



# ■ 各事業 📥



### ・ 純増数は順調に伸長

モバイル

純増数 : 4,700契約 (YoY -32.7%)

総契約数 : 714,000契約 (YoY + 3.6%)

純増回線数: 2,400回線(YoY -10.0%)

累計回線数: 97,600回線 (YoY + 9.5%)

### 連結損益概況

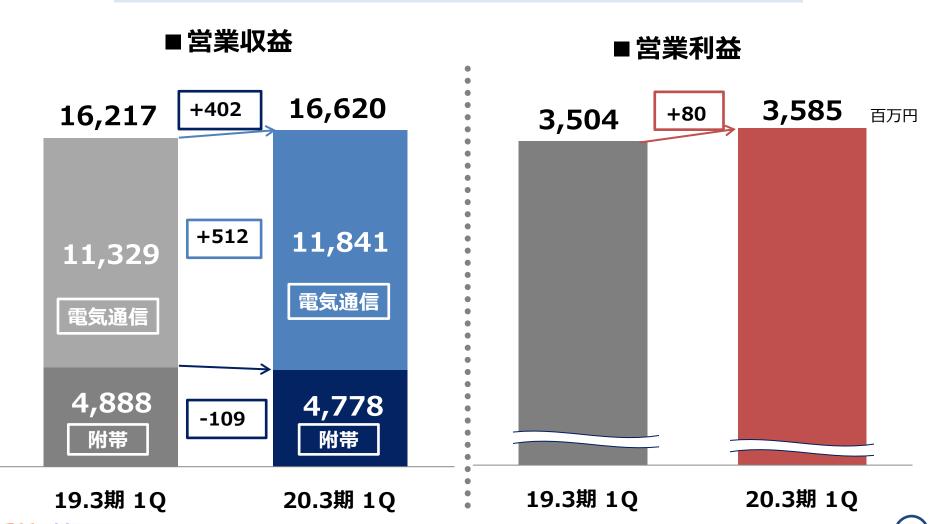
百万円	19.3期 1Q	20.3期 1Q	増 減	増減率	
営業収益	16,217	16,620	+402	+2.5%	
営業利益	3,504	3,585	+80	+2.3%	
経常利益	3,534	3,610	+75	+2.1%	
当期純利益*	2,482	2,488	+5	+0.2%	
EBITDA	5,089	5,194	+104	+2.1%	



<sup>\*</sup>親会社株主に帰属する当期純利益

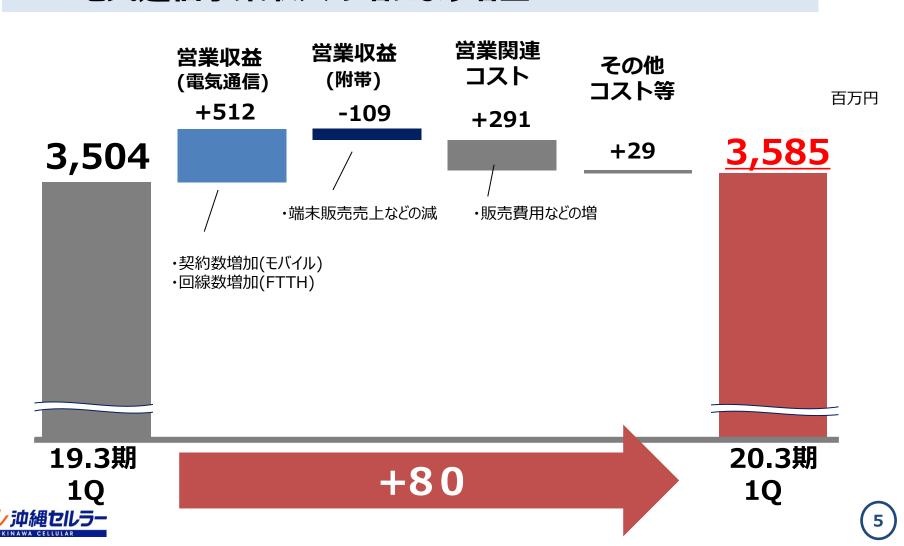
### 営業収益・営業利益の状況

### 営業収益、営業利益ともに前期比増



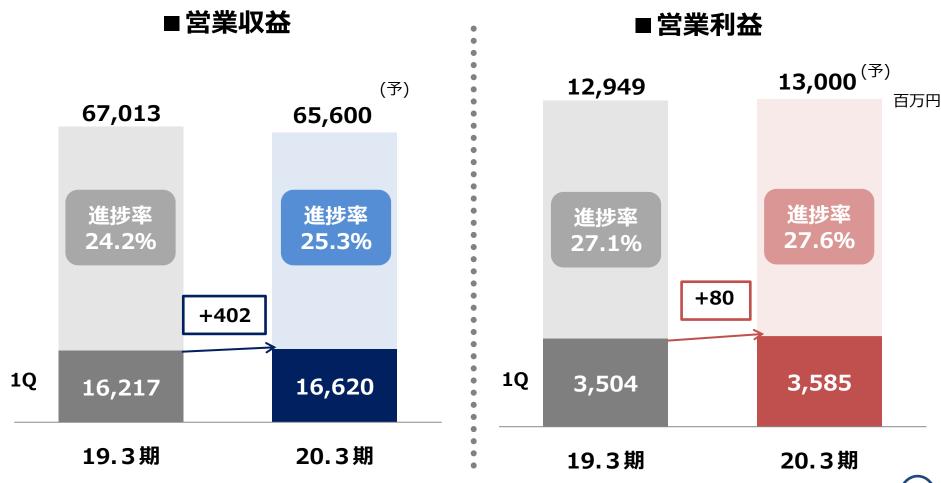
### 営業利益 増減要因

### 販売費用が増加したものの顧客基盤拡大による 電気通信事業収入の増により増益



### 業績予想対比

### 通期業績予想達成に向けて順調な滑り出し





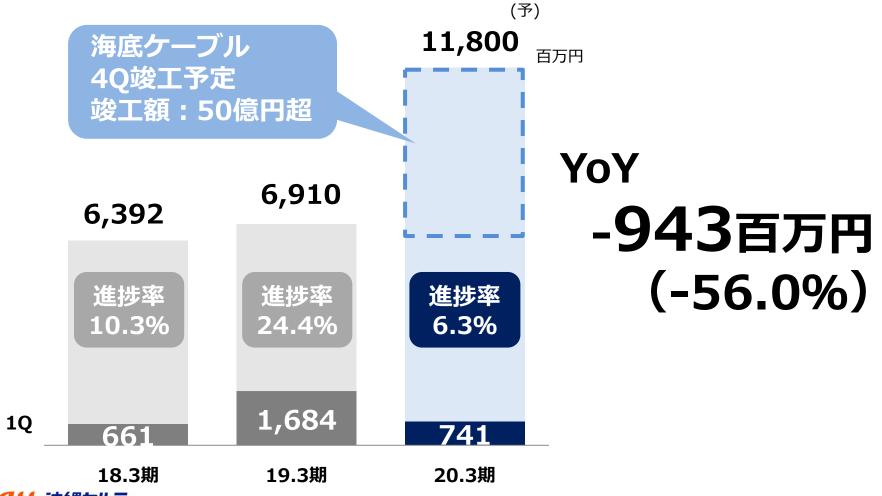
## その他業績概況

百万円	19.3期 1Q	20.3期 1Q	増 減	増減率	
フリーキャッシュフロー	1,581	1,599	+17	+1.1%	
関係会社への 貸付増減額を除く	-1,617	-3,004	-1,387	<b>-</b>	
設備投資	1,684	741	-943	-56.0%	



### 設備投資

### 計画に沿った順調な進捗





# モバイル







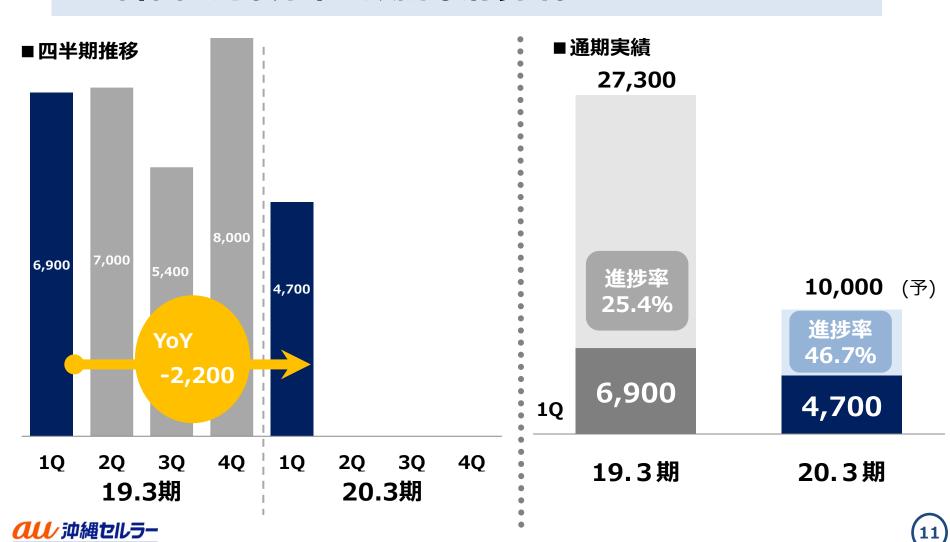
### モバイル稼働概況・ARPA

### 純増数は着実に増加、ARPAは前期比増

	19.3期 1Q	20.3期 1Q	増 減	増減率
純増数	6,900	4,700	-2,200	-32.7%
総契約数	689,000	714,000	+25,000	+3.6%
携帯電話総販売数	56,900	54,800	-2,100	-3.7%
総合ARPA(円) *	6,672	6,900	+228	+3.4%
au通信ARPA*	6,315	6,487	+172	+2.7%
付加価値ARPA*	357	413	+56	+15.7%

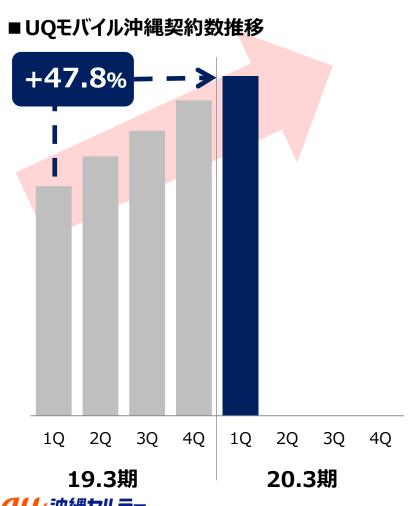
### モバイル純増数

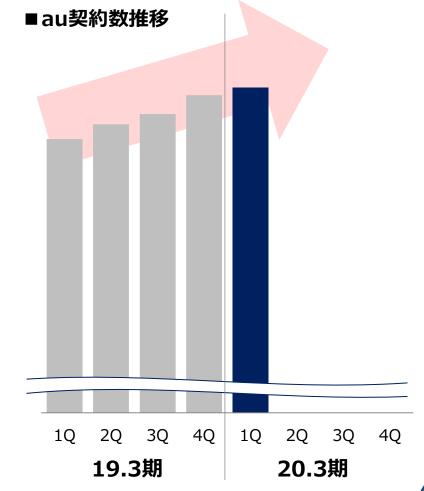
# 純増数は通期予想10,000に対し進捗率46.7%計画に対し非常に順調な滑り出し



### UQモバイル沖縄・au契約数推移

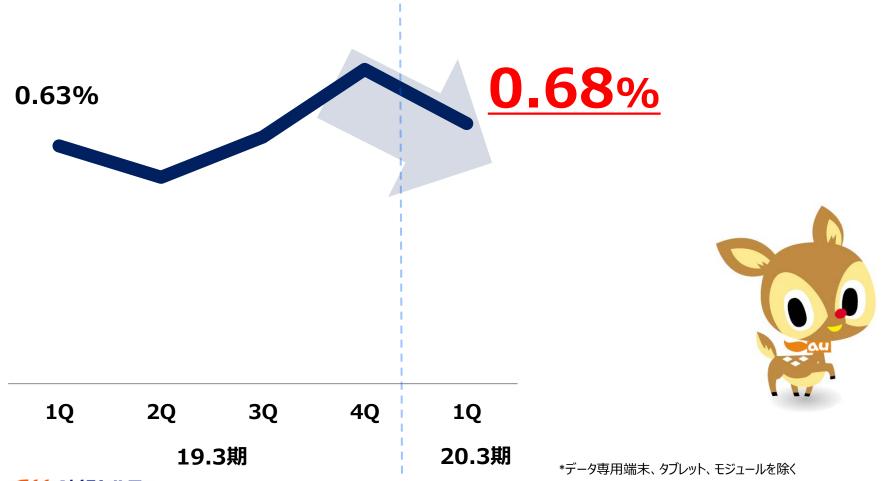
### UQモバイル沖縄は前期比47.8%増 auも順調に増加し、顧客基盤は着実に拡大





### 解約率推移

### 他社の攻勢があるものの、解約率は低位で推移



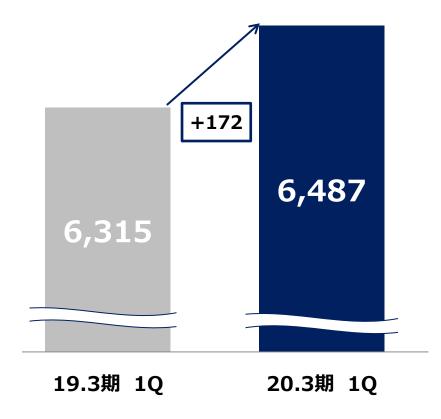


### 1人当たりのモバイルデバイス数・au通信ARPA

### 1人当たりのモバイルデバイス数が着実に増加し au通信ARPAも前期比で増加







# FTTH

au ひかり ちゅら ひかりゆいまーる



### FTTH回線概況·ARPU

### 純増回線数は着実に増加、ARPUは前期比増

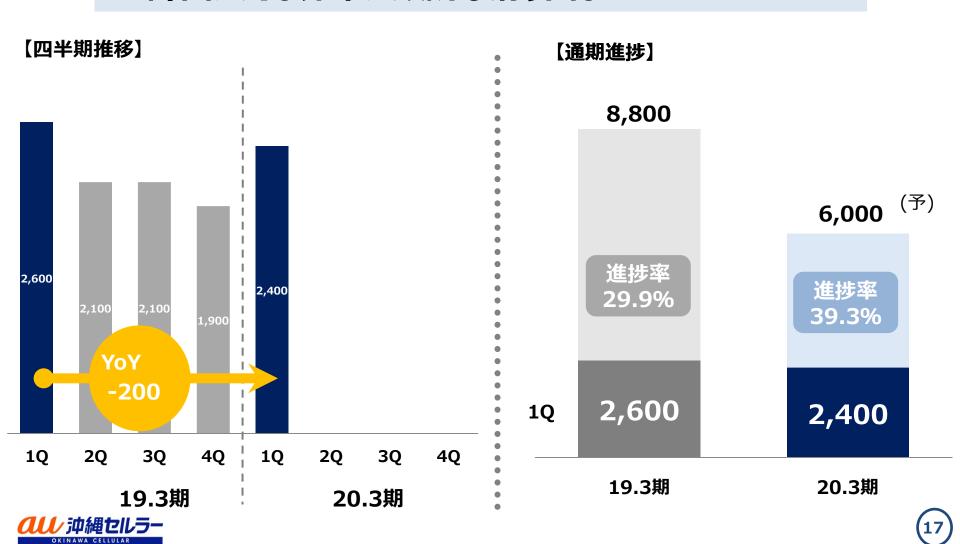
	19.3期 1Q	20.3期 1Q	増 減	増減率
純増回線数	2,600	2,400	-200	-10.0%
累計回線数	89,100	97,600	+8,500	+9.5%
		_		
ARPU (円) *	5,023	5,055	+32	+0.6%

※auひかりちゅらARPU



### 純増回線数

# 純増数は通期予想 6,000に対し進捗率39.3%計画に対し非常に順調な滑り出し

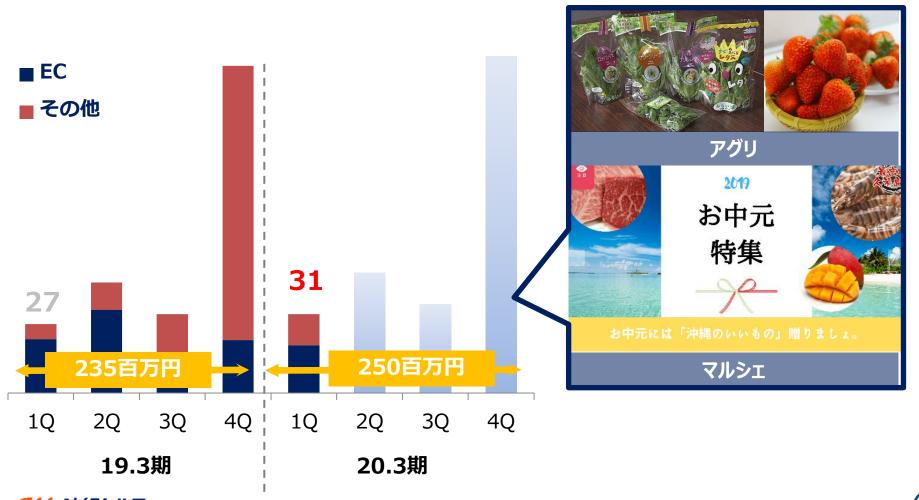


# その他のご報告



### 沖縄セルラーアグリ&マルシェ売上推移

### 前期7月より出荷を開始した美ら島ベリーが1Q増収に貢献



### アグリ事業の拡大

### 内閣府の補助金を活用しイチゴ工場を増設 物流ハブ拠点を活用し2020年に海外輸出を目指す

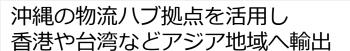
■イチゴ工場を増設



「沖縄国際物流拠点活用推進事業」 に採択→増設費の補助(最大2/3)に より初期投資額を大幅に圧縮 ■海外市場へ



香港/台湾など アジアへ輸出!





### 戦略投資の状況①

### 海底ケーブル着工(2020年3月竣工予定) 県内産業や経済発展を支えるネットワークの構築を目指す

#### ■起工式の様子



#### ■名護に完成予定の陸揚局舎



(イメージ図)

「5G時代の高トラフィック」、「大規模災害」 といった将来のリスクへ対応

### 戦略投資の状況②

# データセンター/オフィスビル着工(2021年11月竣工予定)沖縄から本土や世界に最新情報を発信するビルを目指す

#### ■起工式の様子



#### ■現状の様子



DC、オフィスをメニューに加え、 通信サービスとの相乗効果により 法人向け事業の収益力を底上げ

### 地元貢献の取り組み①

琉球大学、民間企業と連携し、観光客の行動を分析 データを活用し、地域・自治体の抱える悩み解決に取り組む

#### ■記者会見の様子



観光客の満足度向上などに貢献するための協定を琉球大学などと締結 IoT・ICT 技術を活用した新たな観光 スタイル創設を目指す ■ 観光ビッグデータ分析に協力

### 観光ビッグデータ



宿泊場所 周遊パターン 滞在場所 滞在時間 etc

データをもとに観光客の行動を分析



√位置情報取得のWi-Fiセンサー設置

√旅行情報などを観光客に配信<br/>



### 地元貢献の取り組み②

### 国土交通省の先行モデル事業に「八重山MaaS」が選出 石垣市、竹富町とシームレスな交通利用サービスの実現に取り組む

#### ■記者会見の様子



国土交通省「新モビリティサービス 推進事業」に選定 石垣市、竹富町と沖縄セルラーなど 民間企業が協力し実証実験を実施

#### ■「八重山MaaS」に協力







√加盟事業者利用環境構築 √ユーザアプリ提供

### 地元貢献の取り組み③

### 琉球大学病院など県内医療機関と連携 ICTを活用した「医療費あと払い」サービス提供開始

■記者会見の様子



■「医療費あと払い」サービス



アプリから利用登録

病院で利用申し出、受診

会計せずにそのまま帰宅!

診察料は携帯料金とまとめて支払い!

# 経営目標



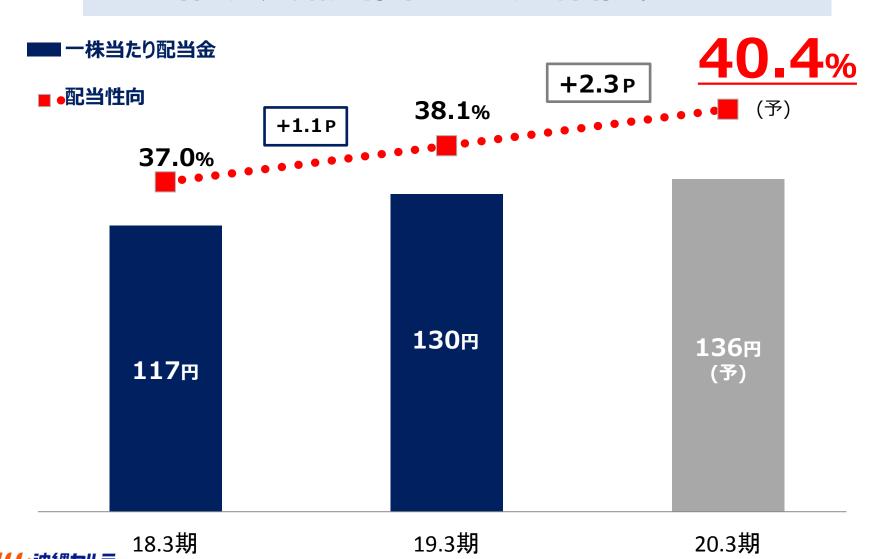
# 増収·増益·連続増配

経営 3 増(サンゾウ)



### 株主還元

### 3増に加え、配当性向40%超を目指す



## 【参考】業績の推移

(百万円)	15.3月期	16.3月期	17.3月期	18.3月期	19.3月期	20.3月期 1Q
営業収益	59,585	62,656	63,017	65,176	67,013	16,620
電気通信事業	41,807	43,456	43,924	45,177	46,357	11,841
附带事業	17,778	19,200	19,092	19,999	20,656	4,778
営業利益	10,331	11,212	11,703	12,449	12,949	3,585
フリーキャッシュフロー	2,495	3,183	2,976	3,859	4,607	1,599
関係会社への貸付金増減額を除く	6,301	6,878	8,572	6,562	5,410	-3,004
設備投資(竣工ベース)	7,268	7,833	6,882	6,392	6,910	741
有利子負債残高	1,159	743	459	481	302	283







お問合わせ先

沖縄セルラー電話株式会社

経営管理部 IR・経営戦略グループ

TEL: 098-951-0639

E-mail: oct-ir@au-mobile.com

- ●この配布資料に記載されている業績予想及び契約数予想等はいずれも、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争 状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績及び契約数は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合が ありますことをご承知おきください。
- ●本資料の一切の権利は当社に属しており、方法・目的を問わず、無断で複製・転載を行わないようお願い申し上げます。